

各種サービス

まだまだある多彩な Googleサービスの注目機能

便利技 | なくしたスマホやタブレットはネット経由で探す

Android搭載のスマホやタブレットが行方不明になって困ったときは、グーグルが提供する「スマートフォンを探す」を実行してみよう(図1)。

Webページまたはスマホアプリの「Android デバイスマネージャー」を開いて地図を確認。近くにあるなら、着信音を鳴らして探そう。心当たりのない場所に移動しているなら、新しいパスワードを指定して画面をロックするか、内容を消去して不正なアクセスを防ぐ。なお、機器側の電源が切れている場合は、電源が入った時点でロックや消去が有効になる。

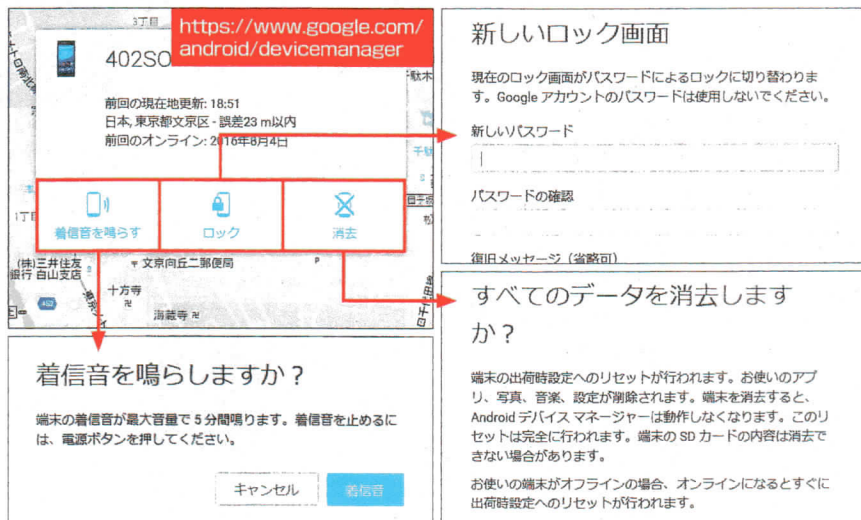


図1 地図上に大まかな所在地が表示される。インターネット経由で「着信音を鳴らす」「ロック」「消去」という3通りの対処方法を実行することができる

スコ技 | かざすだけでも会話中でも翻訳できる

「Google 翻訳」では、文章だけでなく Web ページを丸ごと翻訳できる(図2)。外国語の看板はスマホの「Google 翻訳」アプリでカメラにかざせば別言語で表示され、音声や会話も翻訳可能だ(図3~図5)。



図2 画面左側に Web ページの URL を入力し、右側の URL をクリックすると、ページ全体を翻訳できる

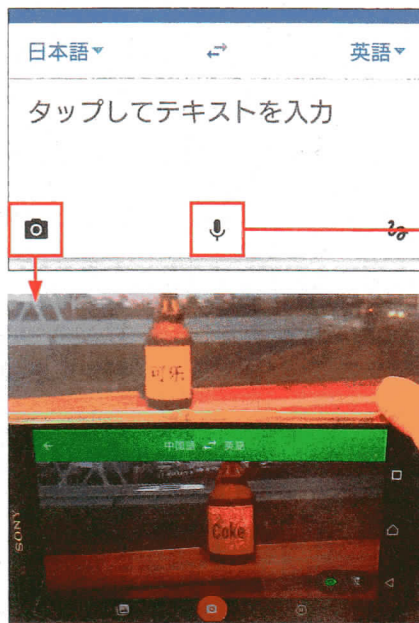


図4 カメラアイコンをタップすれば、文字にスマホをかざすだけで翻訳された文字に入れ替わる(日本語は未対応)

図3 スマホ用の「Google 翻訳」アプリでは、入力したテキストはもちろん、写真や音声から翻訳できる。Android 用と iPhone 用が公開されている

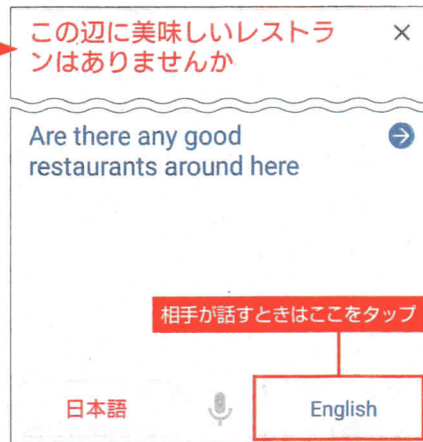


図5 マイクアイコンをタップすれば、会話の翻訳も可能だ。日本語と英語を切り替えながら会話しよう

2段階認証

アカウント認証のセキュリティを高める方式の一つ。第三者による乗っ取りやなりすましを防ぐ。大手Webサービスの多くは、オプションで設定できる。

用語解説

便利技 気になる情報は自動で収集

企業の動向や為替の変化、お気に入りチームの勝敗など、「関連情報はすぐに知りたい」と思うことがあるなら、「Googleアラート」の画面を開いて、キーワードを登録しておこう(図6)。登録したキーワードに関連する情報がニュースサイトなどに掲載されると、すぐにGoogleアラートからメールが届くので、情報を見逃す心配がない(図7)。配信時間の指定なども可能だ。

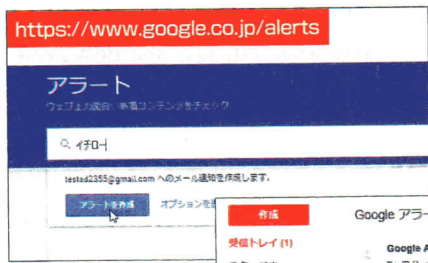
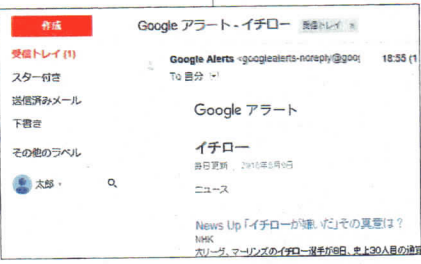


図6 検索キーワードを入力して、「アラートを作成」をクリック

図7 指定したキーワードがニュースサイトなどで報じられると、メールでお知らせが届く



スゴ技 Googleマップで火星も探索

Googleマップは地上だけでなく、海中でも施設内でも見ることができる。それに加えて、月や火星までも探索することが可能だ。「Earth」をクリックして航空写真を表示させ、画面をどんどん縮小していく。青い地球が見えてきたら、画面右下のボタンをクリックしてみよう(図8)。月や火星を選択して、地表を拡大表示することができる。ドラッグでの移動や画面拡大も可能だ。

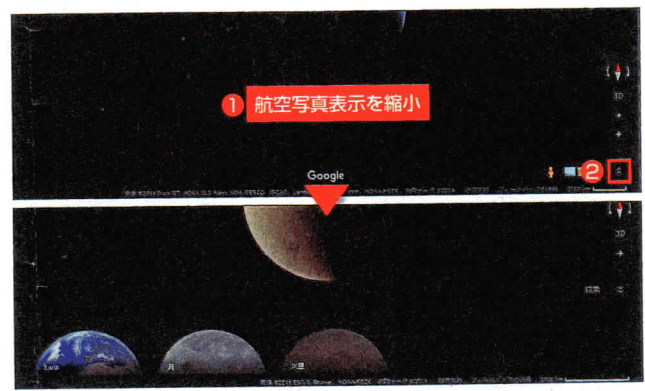


図8 航空写真での表示を縮小して地球全体が見えたら、画面右下のボタンをクリック(上)。「月」や「火星」を選択(下)

便利技 面倒な2段階認証が簡単に

Googleアカウントでのログインで、パスワード認証の後に確認コードでの認証を追加することで安全性を高める「2段階認証」。アカウント流出対策として万全な仕組みだが、手順は煩雑だった。しかし、2段階目の認証方法を「Googleからのメッセージ」にすれば、タップするだけの簡単操作で安全性を高められる(図9、図10)。

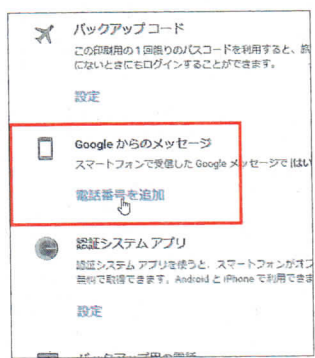


図9 「Googleからのメッセージ」の「電話番号を追加」を選択し、スマホの番号を指定

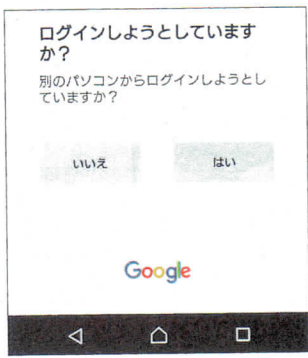


図10 新たな機器でログインすると、指定したスマホに確認画面が表示される

スゴ技 世界の災害時ライフライン

国内の災害は詳細なニュースが報道されるが、海外だと詳細は分かりづらい。気になるならGoogleクライシスレスポンスの「災害情報マップ」などでチェックしよう(図11、図12)。台風、地震、異常気象といった災害が起こっている地域を世界地図で確認できるほか、地域ごとの危険度や緊急時の避難場所などを確認できる。



図11 「災害情報マップ」では、台風、地震、異常気象などを表示できる



図12 「防災マップ」では、各地域の災害危険度や避難などを確認できる